校訓
至誠励業
剛健成風
操守堅固

東京あさぼらけ

発行者
東京福中・福高同窓会
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-21-21
西新宿成和ビル３Ｆ
黒永会計事務所内
TEL 03-3363-0118
FAX 03-3363-0366
Eメール
office@tokyo-fukuchufukkou.jp

＊＊活躍する同窓の仲間たち＊＊

「紙と鉛筆とフィルムの時代」から次の時代へ
新次元の映像世界を創りだす

アニメーション映画監督・デザイナー**荒牧伸志**さん(高31回)

昨年開催された第27回東京国際映画祭・特別招待作品部門でジャパンプレミア上映された映画『APPLESEED α』監督、荒牧伸志さん。ここ数年、『スターシップ・トゥルーパーズインベイジョン』『キャプテンハーロック』など毎年作品を世に送り出していらっしゃいます。そのファンは日本にとどまらず世界中に。映画のクレジットに同窓生の名前が出ると嬉しくなって隣座席の人に教えたくなる性分。もっと荒牧さんのことが知りたいとお話を伺ってきました。

(取材・高39回 岩瀬智子)

【世界中の"友達"からお祝いメッセージが届く】

インタビュー日は荒牧さんのお誕生日の翌日。誕生日当日はフェイスブック上で日本からおめでとうメッセージが始まり、ヨーロッパ、アメリカと西へ移動しつつ、先ほどハワイで終わりましたと。なんともワールドワイドな話です。

海外の"友達"は、アニメのデビュー作品である『機甲創世記モスピーダ』(1983年放映)からの古いファンが多いとも。このアニメは日本での放映後、海外で放映されており、メカデザインをした荒牧さんの名は、日本にとどまらず世界にファンを広げていったのです。

【若きデビュー】

さて、この『モスピーダ』は、異星人に侵略された二〇八〇年の地球を描いたSFアニメで、1980年代前半に大ヒットしていた『超時空要塞マクロス』の1年後の作品です。『マクロス』のデザイナーが荒牧さんと同世代だったそうで、当時「若い人に頼むとすごいものができてくるかも」という業界の風潮に助けられ、「バイクがロボットに変形するという自分のアイデアやデザインが受け入れられ、あっさりとアニメ制作が始まった」

上京の際に立てた「いつか自分でタイトルとなるメカのデザインをしたい!」という目標が1年目にして早くも叶ってしまい、次の目標をどうするか戸惑ってしまったこともあったそうです。

【上京のきっかけ】

初監督は大学3年の漫画倶楽部で作った20分ほどの自主制作のアニメ作品。この作品を大学祭や関西地域の上映会で披露したところ、聴衆の称賛に「これが自分の生涯の仕事だ!と思えた」

この作品を見たアニメ業界の人から、ロボット玩具のデザインをしないかと誘われ、これをきっかけに大学をやめて上京、デザインの仕事を始めることに。「20歳そこそこの若造」が描いたデザイン画を製品化する時、年配のおもちゃの職人さんたちにデザインの意図がうまく伝わらなかったり、製品の金型に5千万円がかかると聞いた時は結構ドキドキものだったとか。

【監督のお仕事】

おもちゃの仕事は上京当初だけで、その後、アニメに出てくるロボットなどのデザインがメインの仕事に。しかし、デザインだけでなく、作品自体をより面白くしたいという思いが大きくなり、演出や企画も手がけるようになって、監督業にも。

荒牧さんはよくインタビューで「監督を目指されたきっかけは?」と問われるとのことですが、ご自身は「創りたい作品を形にする人が結果的に監督になるのであって、目指してなるものではない」とも。

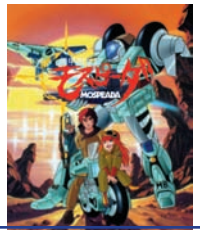
監督という言葉から受けるイメージは人それぞれですが、荒牧さんはスタッフとみんなでわいわい作っている時が一番楽しく、完成してしまうのが寂しい時もあると話します。大学時代と変わらぬスタンスで作品づくりに向かわれている様子がうかがえます。

【CGの世界へ】

荒牧さんの興味はアニメ制作の「手段」にも広がり、手描きからコンピュータによる作画(CG)へと向かいます。よりリアルに描ける3DCGというツールを手にすると、今では実写との境目がわからないほどの映像に。「実写でやればいいのに、CGを使って面倒くさいことやっていると思いますよね?」

しかし、ハリウッド映画のような実写とCGの融合という力技は、今の日本では予算的にも難しいのが現実だそうで、「限られた予算のなかで自身のもつ世界観—例えば未来の荒廃した世界やハイテクなロボットが登場するような世界をクオリティ高く表現するのにCGが非常に有効な

次ページへ続く

荒牧伸志(Shinji Aramaki)さんのプロフィール

古賀中学校出身。福高在学中は２年時まで卓球部。岡山大学在籍中に上京、おもちゃの外注デザイナーとしてキャリアをスタート。1983年23歳の誕生日にメカニックデザインを担当したロボットが登場するアニメーション『機甲創世記モスピーダ』がフジテレビ系列で放映開始。以降、アニメーション映画監督・デザイナーとして活躍中。